

秋田県の木材需要創出施策における本事業の位置づけ

木 材 市 場 の 展 望

- ① 本県の新設住宅着工戸数の大幅な減少が予測される中、非住宅建築や土木分野は、東京オリンピック・パラリンピックを契機として、大都市圏を中心に多様化や高度化を伴いながら、今後のシェア拡大が見込まれる有望な市場である。
- ② 一方、中・大規模建築において、木造は鉄骨造や鉄筋コンクリート造に比べ、現状ではコスト高であり、また、木材・木質構造などの学習機会や使用経験がない建築士等が全国的にも大半を占めることは、木質部材の開発と同時に解決しなければならない重要な課題となっている。

秋 田 県 の 強 み

木 材 加 工 企 業

全国屈指の多様な木材産業の集積
(製材・合板・集成材等)

鉄 鋼 加 工 企 業 等

技術開発や品質向上、市場開発等への不断の取組

木材高度加工研究所

木質部材・構造、CLT、WPC、木製土木構造物等の研究

システム科学技術学部等

耐火部材、耐震構造、競争戦略、景観デザイン等の研究

モノづくりの領域

ヒトづくりの領域

○異業種連携等によるコンソーシアム設営事業

秋田スギ需要フロンティア研究会の設営
(横断的・中長期的観点からの指導・助言)

異業種連携・産学官連携 = 技術融合・産業融合

○新たな複合木質部材開発事業

CLT等を含む木鉄ハイブリッドなど
“新たな木質部材”の開発

○新たな木質部材等普及展開事業

木質構造や混構造に精通した建築士等
“優れた建築人材”の育成

○新たな木質部材研究
開発施設等整備事業

研究・開発の加速化

○低投資型CLT製造実証事業

県産CLTの提供と生産の普及

○木質部材等需要創出先導事業

展示効果やシンボル性、公共性が高く、
新材や新用途、新工法等を含む(ローカルイノベーション)民間施設の整備に対する支援

〈技術移転等〉

〈設計施工等〉

これまで木質部材がほとんど使われてこなかった分野への参入による新たな市場の創出
(非住宅建築・中心市街地(防火地域等)・土木分野など)



市場や業界の境界を引き直す = 構造材等を巡る“競合”関係から“Win-Win”構築へ